

ナベ、カサ、おろし金、  
針金ハンガー、  
スプーン1本も

事前の連絡が  
必要になって

苦情が殺到！  
電話がつながらない事態に

# 小物金属 の収集

申し込みのいらぬ方法へ  
改善されます  
今年4月から

12月議会で日本共産党が要求

小物金属の収集が今年四月から、事前の申し込みのいらぬ方法にもどされることになりました。昨年十二月議会で日本共産党が要求し、環境局長が約束していたものです。

それまで「資源物の日」に出せばよかったものが、昨年四月から、ナベ、フライパン、針金ハンガー、おろし金、スプーン一本にいたるまで、いちいち連絡しなければならぬ方法にされたため、「めんどくさい」「わずらわしい」と苦情が殺到。なかなか電話がつながらない事態になっていました。



混乱の根本にあるものは…

収集方法の改悪で、一般ごみへの小物金属の混入が増えるなど、この間の混乱はなぜ起きたのでしょうか。

「収集コスト削減 先にありき」で、あまりにも市民生活の実態を無視した阿部市長の「行革」が根本にあります。

2004年  
12月議会

共産党の質問に環境局長が見直しを約束していました

「小物金属の収集方法の見直しについて、事前の申し込みのいらぬ収集方法を含めまして、市民のみなさんにご協力をいただきやすい仕組みに向けた検討を急いでまいりたい」

さらに

小物金属「30cm未満」条項の見直しを  
共産党市議団が市長に緊急申し入れ

「ナベ・フライパンは柄の部分を含めると30センチを超えてしまう」「柄を外せないものが多い」…。長さ30センチを超えるものは有料の粗大ごみとされるため、「30センチ未満」という小物金属の条項

が、いま問題になっています。2月10日、日本共産党市議団は阿部市長への申し入れをおこない、①「30センチ未満」条項を見直すこと、②調理器具等の日用品は「30センチ未満」にこだわらず柔軟に対応することなどを要求。環境局長が、趣旨をふまえて見直しを検討すると約束しました。



小物金属収集の改善を申し入れる共産党市議団と応対する環境局長（2月10日）

第163号 2005年2月  
日本共産党川崎市議員団  
日本共産党川崎市委員会  
川崎市川崎区砂子2-8-1-401  
☎(211) 3731

<http://www.jcp-kawasaki.gr.jp>



昨年4月からの  
粗大ごみ、中小業者・商店ごみ  
の有料化につづいて...

川崎市が  
こんどは

# 家庭ごみの 有料化



阿部市長が検討を指示

あなたの「意見」をぜひお寄せください

昨年四月から粗大ごみと中小業者・商店ごみが有料化事業系10kg控除廃止)され、年間約三〇億円もの市民負担増となりました。その川崎市が、こんどは毎日の家庭ごみを有料化しようとしていることをご存じでしょうか。



## 「行革」スケジュールに明記

川崎市が昨年十一月に発表した『一般廃棄物処理基本計画』では、「ごみを削減した者が目に見える形で報われるごみ処理手数料の排出者負担など、経済的手法の導入に向けた検討を行います」と明記。

阿部市長は記者会見(04年11月22日)で「一般家庭ごみの有料化は当然検討対象」とのべ、十二月議会で市長が提案した「基本構想」のスケジュールには、二〇〇五年から「家庭ごみ有料化の検討」を開始することがはっきり盛り込まれました。

まずは  
生ごみ収集日を削減  
週4回から3回へ

この二月に発表された計画では、効率的な収集体制にするとして、「2007年度 普通ごみ週3日収集に移行」と明記。まずは収集回数を現在の週四日から一日減らそうとしています。

これらのごみ収集をめぐる相次ぐ負担増計画について、みなさんのご意見をお寄せください。

(下記のFAX・Eメールアドレスまで)

FAX 245-4140 Eメール info@jcp-kawasaki.gr.jp 日本共産党川崎市議員団

## ごみ有料化・収集回数減などへの わたしの意見

氏名	男・女	電話
お住まい 川崎区・幸区・中原区・高津区・宮前区・多摩区・麻生区		
年代 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代( )		

該当するものに を付けて下さい。氏名などは無記入でも結構です。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(FAXの場合は、切りとらず、このまま送っていただいて結構です)